

図画工作科学学習指導案

指導者 横浜市立中和田南小学校 岩越 まどか

1. 日時・場所 令和5年12月6日(水) 第5校時 場所 図工室・理科室

2. 学年・組 第6学年2組 24名

3. 「学習の方向性」から題材へ

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」

○感じたことや想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見付け、主題を効果的に表す。

○活動したことや表現したもののよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】[共通事項]

子どもたちの姿

4年生の頃

「コロコロガール」では、紙材質の材料(色画用紙や片面段ボール、ペーパーの芯など)を使って、自分のつくりたい思いに合わせて、コースをつくっていた。形の組み合わせだけでなく、材料の色にも着目して、コースの特徴に合わせて紙の色を変えたりして表現していた。

「ゴーゴードリームカー」では、自分で用意した箱やペットボトルの形から、走らせたい車の形をイメージし、材料などを工夫して表現したが、形についてのイメージを広げるのが苦手な児童は、つくりたいものがなかなか思いつかず、空き箱のパッケージをそのまま使ってしまう児童もいた。

5年生の頃

「のぞいてみると」では空き箱に、のぞき穴と光を通す穴をあけて箱の中にイメージした世界を表現した。画用紙、紙粘土、プラ容器など自分の表したいものに合わせて材料を選んで立体に表したが、のぞき穴からのぞいた時の奥行きや全体のバランスがなかなか意識できず、のぞき穴からのぞいても、目の前に大きなものがたっていて、中の世界がよく見えない作品になってしまった児童がいた。穴をあけて光を調節するところは、穴の数や大きさを考えて調整したり、セロハンを使って自分のイメージに合う色を考えたりすることができた。

6年生(今年度)

「音のする絵」では、音を絵に表す活動をしたが、目に見えないもの、想像したものを絵に表すことに難しさを感じている児童が多くいた。聞いた音からどんな感じがするか、それらを色にしたら何色か、形にしたらどんな形かを考えながら絵の具を使って表現した。

「くるくるクランク」ではクランクの仕組みを知って、楽しんで工作に取り組んでいた。ワイヤーを回すたびに箱の中でクランクがぶつかってしまい、何度も調整している児童もいた。奥行きの感覚がまだ意識できない様子だった。また、全体のバランスが意識できず、飾りたいものの大きさが小さくなりすぎてしまって、うまく表せなくて意欲が落ちてしまった児童がいた。

図工は好きな児童が多いが、今年度は抽象的な題材を扱うことが多く、イメージをうまく形にできないことに気持ちが落ちてしまったり、あきらめてしまったりする児童もいる。

事前にとったアンケートでは、96%の児童が図工は好きと答えているが、立体に表すことが苦手だと答えた児童は24%いた。また、記述式で作品に表すときに得意(時間を忘れて夢中になれること)、苦手(おずかしいなどと思うこと)を答えてもらうと、やはり絵に表すことは得意と答える児童が多く、苦手なこととして、「自分でイメージしてかいたりつくったりすること」を答えた児童が多かった。

教師の願い

4年生から図工専科としてこの学年の子どもたちとは関わっているが、作品と触れ合う際、色について着目したり、抽象的なものでも、色の感じでイメージしたりすることはできるが、形についてはなかなかイメージを広げていくことが難しい児童が多い。

また、この学年の児童は、絵に表すことが得意な児童が多いが、立体に表すことには苦手意識をもっている児童もいる。立体に表すことの経験不足もあるのではないと思う。材料を組み合わせることや削り出していく面白さを味わってほしい。

6年生になり、抽象的に表す題材が多く、前年度より難しさを感じている児童が多くいるので、この題材では、言葉からイメージを広げて、自分なりに形に表すことや、互いの作品のよさに気づき、真似をしたり、参考にしたりしながら、効果的に立体に表すことを楽しんでもらいたい。

特に、奥行きや光の感じをとらえ、表したい形を工夫して表し、光の当たり方によってその見え方が変化していくおもしろさを感じ取ってほしい。

事前アンケートで、「図工の時間の学習でこんなことができるようになった!」と思うことを記述してもらうと、92%の児童が絵の具の混色や技法についての記述だった。4年生からの指導の積み重ねが見えた。立体についても残りわずかな期間だが、経験し積み重ねていってほしい。

光の形に思いをのせて

～メラミンスポンジとライトで表す ゆめが丘のステキ★☆☆～

題材目標

- メラミンスポンジを切ったり、削ったり、組み合わせたりする時やメラミンスポンジに光を当てた時の感覚や行為を通して、動き、バランス、色の特徴などの造形的な特徴を理解するとともに、これまでのカッター、彫刻刀、接着剤などについての経験を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すようにする。
- メラミンスポンジを切ったり削ったり組み合わせたりしてできた形やメラミンスポンジに光を当ててできた色などの造形的な特徴をもとに自分なりのイメージをもち、感じたことや想像したことなどから、表したいことを見付け、どのように主題に表すかについて考えるとともに、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めるようにする。
- 表現したり鑑賞したりする活動に主体的に取り組み、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにする。

題材について

本題材は、メラミンスポンジを切ったり削ったり組み合わせたりしながら、光を当てると美しい立体に表していく題材である。材料の切り方や組み合わせ方によって、全体のバランスや動きが変化し印象が変わることを知り、それらを試しながらイメージを広げていく力、表したいものを形にしていく力を育てたい。また、光の当たり方によって、作品の見え方が変化する面白さや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深められるようにしたい。

本校の学区である「ゆめが丘地区」は再開発が進み、新たな街へ生まれ変わっている。自分たちの住む街のよさを感じたり、これから変化していく街へ期待を膨らませたりしながら、造形活動に取り組み、表現する楽しさを味わい、自分の自信へとつなげたい。本題材の学習後は、最寄り駅のゆめが丘駅や下飯田駅、学校敷地内にあるコミュニティハウスに飾ってもらいこの町に住む多くの人に自分たちの作品を見てもらえる機会をつくりたいと考えている。

○「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力と本題材との関連

メラミンスポンジを使って光を当てて美しい立体に表していく。材料と触れ合い試す時間を十分に確保し、自分の表したいもののイメージを考える手がかりにする。十分に試すことで、動きや奥行き、全体のバランスを意識しながら、自分の表したいものを工夫して表せるようにする。友達がつくっている様子が自然と目に入るような座席配置にし、互いに作品を見ながら、自分の見方や感じ方を広げる。また、LEDライトを使って光を当てることによって、作品の見え方が変化するこの面白さや美しさを感じ取ったり、考えたりする。

○本題材における〔共通事項〕についてのとらえ

- ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
- イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

メラミンスポンジを切ったり、削ったり、組み合わせたりして、光を当てて美しい立体にする活動を通して、動きや奥行き、全体のバランス、色の鮮やかさなどの造形的な特徴を捉え、自分のイメージをもつ。

4. テーマに迫るために

研究主題	感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造 ～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～
部会テーマ	効果的に つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

○出あいの工夫

自分たちの住む街「ゆめが丘」の再開発の完成図を見せながら、自分たちの街が生まれ変わっていくことを再確認する。現在のゆめが丘の街のよさと、これからの変化していくゆめが丘の街への期待をふくらませ、街のステキなところを作品に表すことを伝える。

導入では、駅前や人の集まるところには、人の思いや願いが込められたオブジェやモニュメントがあることを紹介する。また、本校の教員数名（メンターや学年担任）に参考作品をつくってもらい、それらを実際に鑑賞しながら、つくるもののイメージをもつようにする。自分たちも、ゆめが丘の街やここに住む人への思いを形にすることへの意欲へとつなげたい。そのままの白いスポンジの状態と、ライトアップされた状態の作品を見ることで、自分で表したい気持ちを高めていく。

○場の設定の工夫

グループで活動することによって、表現の仕方の違いについて気軽に話したり、迷ったときに相談したりできるようにする。また、自分では気が付かない角度で見ることで作品のおもしろさに互いに気付くようにする。

塊のメラミンスポンジだけでなく、いくつかの大きさに切ったスポンジやメラミンシートも用意することで、さまざまな組み合わせ方ができるようにする。

理科室を使って、暗幕や暗箱を用意し、つくった作品に光を当てて、光の効果を確認められるようにする。

○共感的支援の工夫

ワークシートを使って、ゆめが丘のステキ（これからも残していきたいよさ、これから変化していく街への期待）について思いを深め、それを基に簡単な設計図のようなものを書いておく。それを基に教師が子どもの思いを把握しておく。表したいもののイメージがもてるように、声をかけ、自分自身と対話しながら表現しようとする姿を見取り、思いに共感し、励ましていく。

製作途中でも、グループで見合うことができるので、対話させる場面をつくるようにする。友達の作品のよさに気づき、自分の作品に対するイメージを広げ、表現するヒントになるようにする。

○小中一貫の視点

自分のイメージしたもものから発想して、立体に表していく活動は、中学校美術科<絵や彫刻などに表現する活動と、相互に鑑賞する活動>の感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、創意工夫して美しく描いたりつくったりすることにつながっていくと考える。

5. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・メラミンスポンジを切ったり削ったり組み合わせたりする時やメラミンスポンジに光を当てた時の感覚や行為を通して、動き、バランス、色の特徴などの造形的な特徴を理解している。 ・これまでのカッター、彫刻刀、接着剤などについての経験を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メラミンスポンジを切ったり削ったり組み合わせたりしてできた形やメラミンスポンジに光を当ててできた色などの造形的な特徴をもとに自分なりのイメージをもち、感じたことや想像したことなどから、表したいことを見付け、どのように主題に表すかについて考えている。 ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。

6. 指導と評価の計画 5時間（本時 3/5）

- ア 作品を鑑賞し、オブジェやモニュメントについて知ろう。（1時間）
- イ 自分の思いを形にすることを試してみよう。（1時間）
- ウ ゆめが丘のステキ★☆を表そう。（2時間）
- エ みんなで鑑賞しよう。（1時間）

	子どもの学習活動	評価規準 【評価方法】	教師の指導	知・技	思・判・表	主体的
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ア 作品を鑑賞し、オブジェやモニュメントについて知ろう！</p> <p>○オブジェやモニュメントを鑑賞し、それらにはつくった人の願いや思いが込められていることを知る。 【ワークシート①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらいでみたよ！これって何を表しているの？ ・みなとみらいができたときに、これからの横浜の街の発展を願ってつくられたんだ。どこの形が盛り上がっていき街を表しているのかなあ。 ・くると丸まっているところが、街が栄えて人が集まってくる感じを表しているのかも！ ・オブジェって不思議な形のものが多いけど、それぞれにいろんな思いが込められているんだなあ。 <p>○参考作品をみて、メラミンスポンジを使って立体に表す活動を知ることを知る。光の当たり方によって見え方が変わることを知り、自分が表現したい形の想像を膨らませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸い形は優しい感じがするなあ。角があることで、元気な感じにも思える。 ・光がスポンジの中を通過しているよ。白いスポンジのままでも素敵だけど、光が通るとイメージが変わってきれいだな。 ・ゆめが丘の街のステキなところをいろいろな形で表していておもしろいな。あのぐにやぐにやしている形は何を表しているんだろう？ 		<p>○身近な場所にあるオブジェやモニュメントを提示し、親近感をもてるようにする。</p> <p>「モクモクワクワクヨコハマヨーヨー」 「ランドマーク・クイーンズスクエア・インターコンチネンタルホテル」 「横浜新市庁舎」 「湘南台文化センター」 ※別添資料参照</p> <p>○自分たちの街が再開発で生まれ変わっていく様子を見て、街がきれいになっていくことを喜ぶとともに、「ゆめが丘の街のよさを伝えたいな」という気持ちになるように作品と出あわせる。</p> <p>○本校職員に、「ゆめが丘の街のステキ」なところをイメージして立体に表してもらい、参考作品として鑑賞させる。</p> <p>○光が当たることで見え方が変わることがわかるようにタブレットを使って工夫して提示する。</p>	↓	↓	↓

イ 自分の思いを形にすることを 試してみよう!

総合的な学習の時間

○ワークシートにゆめが丘のよさについて書く。 【ワークシート②】

- ・自然が豊か
- ・田畑が多い
- ・街の人があたたかい
- ・米作りの名人がいる
- ・なし園が学校の目の前にある
- ・電車が2路線使える
- ・ソラトスができる

- 「ゆめが丘のまちのステキなところ」を、ウェビングを使って考える。
- ゆめが丘の街のステキな「もの」「こと」から、掘り下げて「気持ち」「思い」までイメージを広げさせる。
- 今までの学習でかかわった街の人々のことを想起させ、それぞれの苦労や喜び・楽しさなどをウェビングに書けるように支援する。

○ワークシートに自分が思う「ゆめが丘の街のステキ」を書く。

【ワークシート③上】

- ・これから変わっていくゆめが丘のまちに、たくさんの人が集まり、にぎやかになっていくといいな。希望や期待するワクワク感を伝えたい。
- ・稲作や野菜作りをしている地域の人のことを伝えたいな。苦労しながらも、とてもおいしい野菜を作っているからみんなに広めたい。

- 「ゆめが丘のまちのステキなところ」を、ウェビングを使って考えたものを参考にできるように掲示しておく。
- 「思い」を形にすることを再度確認し、ゆめが丘のステキのなかに、「気持ち」や「思い」が入っていることを確認する。

○ワークシートに表したいものについて、自分の思いを書き出し、設計図をかいておく。

【ワークシート③下】

- ・たくさんの人が集まる街になるといいな。にぎやかな感じを丸い形で表してみようかな。
- ・稲作や野菜作りで苦労している人の気持ちを表すには角がある形のほうがよさそう。

- 自分が書き出したゆめが丘の街のステキについてのイメージを広げて、設計図をワークシートにかけるようにする。
- 具体的な「もの」にならないように、「思い」や「気持ち」を形にしていくように声をかけていく。
- ワークシートには設計図とともに、どんな思いを表したのか、なぜその形にしたのかの説明を書けるようにする。

○切ったり穴をあけたりすることを試しながら、自分の表したい形がうまく表せるかを試す。

- ・土台の形は、丸にしよう。みんなが集まっている感じがするから。
- ・切り込みを入れてスポンジを挟むこともできることが分かった。さわやかな風が吹く感じを表すのに使えそうだな。
- ・たくさんの人が集まってにぎやかな声のする感じを丸い形で表してみよう。たくさん丸をストローでつなげてみようかな。

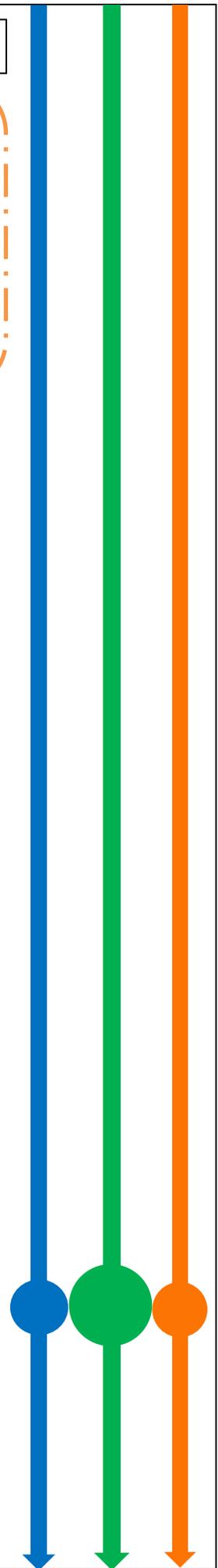
- 気軽に試せる大きさのメラミンスポンジを用意し、切ったり穴をあけたりして、材と触れ合う時間を十分にとる。
- 道具の使い方、安全に留意する。掲示物でも注意喚起する。
- ストローや接着剤なども用意し、組み合わせ方も試せるようにする。
- 暗箱をグループに置き、光を当てた感じも試せるようにする。
- 全体に共有できる児童が見つけた組み合わせ方や切り方などは、写真にとっておき、図工室に掲示できるようにする。

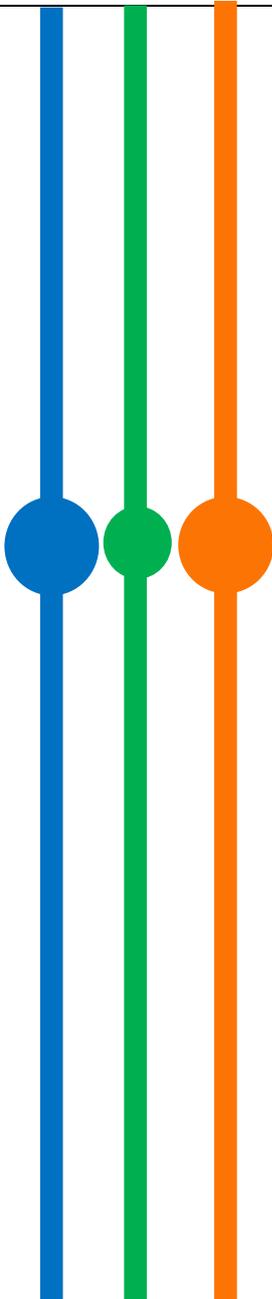
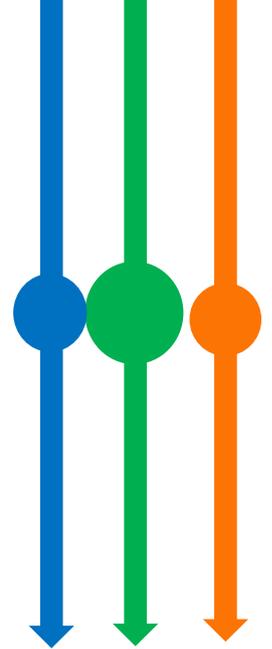
思・判・表

スポンジの形や光の色などの造形的な特徴をもとにイメージをもち、スポンジの形を変えたり、組み合わせたり、光を当てたりして感じたことから、表したいことを、どのように表すかについて考えている。

【活動の様子の観察・ワークシート・つぶやき】

2



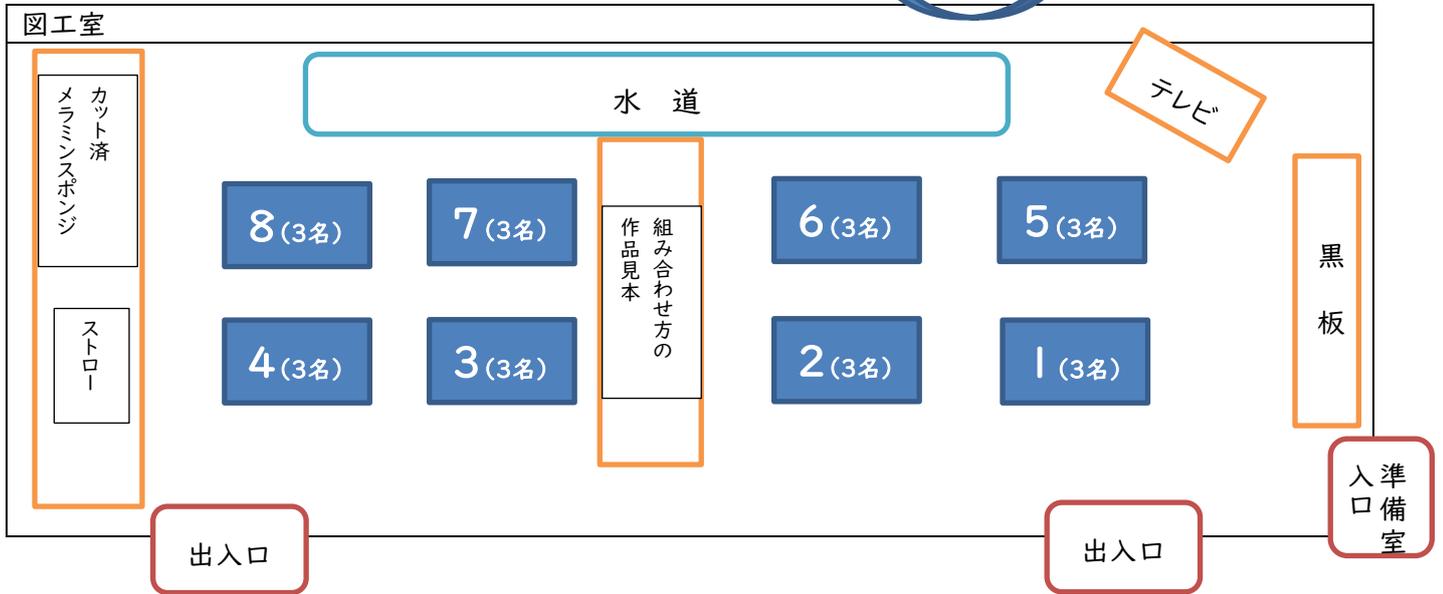
<p>3 (本時)</p> <p>4</p>	<p style="text-align: center;">ウ ゆめが丘のステキ★☆☆を表そう!</p> <p>○ワークシートを基に、自分の思いを形に表すための適した方法を見付けて工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メラミンシートを使うと、波打つ感じの形にできるから、これを「ワクワクする気持ち」を表すところに使えそう。 ・人が集まってにぎやかになった街を表すのに、丸い形をたくさんつなげたかったけど、丸く切るよりも、いろんな大きさの穴をあけることのほうが、スポンジの中に光も通って、イメージに合っている気がする。 <p>○作品に光を当てて、作品を見ながらつくり方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光が外に抜けるようにしてみたら、気持ちがあふれ出す感じが出せそう。 ・LEDライトの光が次々に変わっていくから、春夏秋冬みたいに季節感が出てくる感じがする! ・苦勞する感じは青がいいなと思っていたけど、青から紫に変わって、赤い光に変化していくと、苦勞したけど頑張ったよかったなあって喜びに変わる感じが伝わりそう。 	<p>知・技 メラミンスポンジを切ったり組み合わせたりする時や、メラミンスポンジに光を当てた時の感覚や行為を通して、動き、バランス、色の特徴などの造形的な特徴を理解し、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【活動の様子の観察・写真記録】</p> <p>主体的 進んで光の形を創り出すなどして、表現の学習活動に取り組もうとしている。 【対話の様子の観察・写真記録】</p>	<p>○前時で見付けた切り方や組み合わせ方を図工室に掲示しておく。</p> <p>○前時で試したときの記録を教師のタブレット端末で見られるようにしておき、表現方法に迷っている児童には参考に見せられるようにしておく。</p> <p>○いくつかの大きさに切ったスポンジも用意し、なかなかイメージの広がらない児童が取り組みやすいようにしておく。</p> <p>○ワークシートに書かれた「ゆめが丘のステキ」と自分の伝えたい思いに共感しながら、どんな形が自分の思いを表すのに適しているか声をかける。</p> <p>○理科室を暗室にし、光っている様子がよくわかるようにしておく。</p> <p>○暗箱も用意し、つくりながら光の感じを試せるようにする。</p>	
	<p style="text-align: center;">エ みんなで鑑賞しよう!</p> <p>○作品を鑑賞し、それぞれの表し方のよさや面白さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ班のAさんの作品は、光が通っているから、明るいときと雰囲気が変わっている! ・Bさんの作品は、丸い形がたくさんあって、とても楽しそうな感じがするな。再開後のゆめが丘の街のにぎやかな感じを表したのかな。 ・Cさんの作品はいろいろな形がたくさん使われているなあ。どんな思いを込めたのかな。 	<p>思・判・表 自分たちの作品のよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を深める。 【対話の様子の観察・ワークシート】</p>	<p>○暗幕のある理科室へ作品を持ち寄り、カウントダウンをして点灯する。</p> <p>○それぞれの作品のよさを見合ったり、気に入った光の感じをタブレットで撮影したりして、共有することができるようにする。</p>	

7. 準備

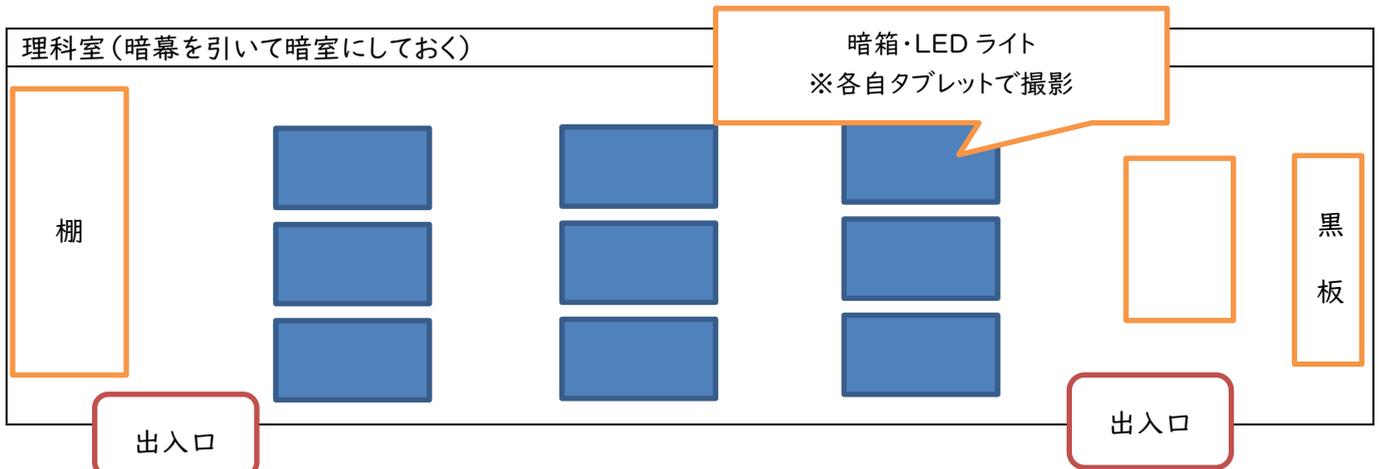
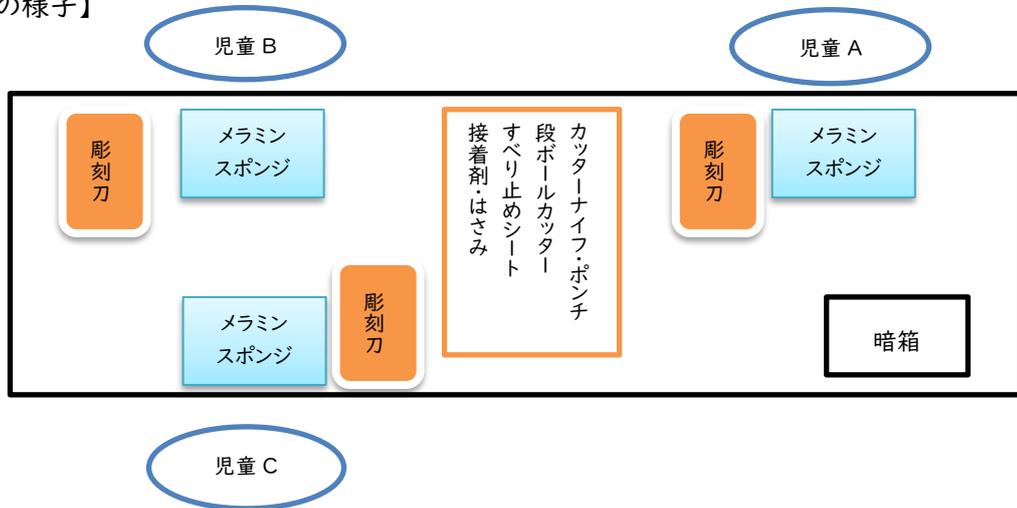
児童:彫刻刀、タブレット端末

教師:様々な大きさや厚さのメラミンスポンジ、メラミンシート、LEDライト、ストロー(数種類の太さ)、はさみ、皮用ポンチ、カッターナイフ、段ボールカッター、すべりどめシート、接着剤、暗箱、土台大きさの目安となる厚紙、LEDライトの土台となる画用紙(組み立て)

8. 場の設定 (図工室と理科室は隣り合っている)



【各グループの机の様子】



9. 本時の計画 (3/5 時)

本時目標

ゆめが丘の「ステキ」に関する自分が表したい思いのイメージに合わせて、メラミンスポンジを切ったり、組み合わせたり、光を当てたりしながら、工夫して表す。

展開

子どもの学習活動	具体的評価規準と評価方法	教師の指導
<p>ゆめが丘のステキ☆☆を表そう!</p>		
<p>○ワークシートを基に、自分の思いを形に表すための適した方法を見つけて工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メラミンシートを使うと、波打つ感じの形にできるから、これを「ワクワクする気持ち」を表すところに使えそう。 ・人が集まってにぎやかになった街を表すのに、丸い形をたくさんつなげたかったけど、丸く切るよりも、いろんな大きさの穴をあけることのほうが、スポンジの中に光も通って、イメージに合っている気がする。 ・今よりもっと素敵な街になると思うから、楽しい感じを表現したいな。丸い形がたくさんあれば、ポップな感じで、楽しそうだな。 ・再開発が進んでも、今までの自然豊かなこの町の雰囲気を残したいな。境川と和泉川にはさまれているから、川の流れる感じを出してみたいな。細長い形がいいかな。 <p>○作品に光を当てて、作品を見ながらつくり方を工夫する。光の当たり方をタブレットに記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光が外に抜けるようにしてみたら、気持ちがあふれ出す感じが出せそう。 ・LED ライトの光が次々に変わっていくから、春夏秋冬みたいに季節感が出てくる感じがする! ・苦勞する感じは青がいいなと思っていたけど、青から紫に変わって、赤い光に変化していくと、苦勞したけど頑張ったよかったなあって喜びに変わる感じが伝わりそう。 <p>○次回の見通しをもつ。</p>	<p>知・技</p> <p>メラミンスポンジの形を変えたり、組み合わせたり、光を当てたりすることを通して、切り出した形やそれらの組み合わせによってうまれる動きや奥行き、バランス、色の特徴などを理解している。</p> <p>メラミンスポンジを切ったり削ったり組み合わせたりして、表し方を工夫し、主題を効果的に表そうとしている。 【活動の様子を観察・つぶやき】</p> <p>主体的</p> <p>自分の思うゆめが丘の街のよさに対する思いを形に表す面白さや喜びを味わい、主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。 【対話の様子を観察・写真記録】</p>	<p>○前時で見つけた切り方や組み合わせ方を図工室に掲示しておく。</p> <p>○ワークシートに書かれた街の素敵なところを「もの」ではなく「思い」をもって形にすることを再確認する。</p> <p>○前時で試したときの記録を教師のタブレット端末で見られるようにしておき、表現方法に迷っている児童には参考に見せられるようにしておく。</p> <p>○いくつかの大きさに切ってあるスポンジも用意し、なかなかイメージの広がらない児童が取り組みやすいようにしておく。</p> <p>○ワークシートに書かれた「ゆめが丘のステキ」と自分の伝えたい思いに共感しながら、どんな形が自分の思いを表すのに適しているか声をかける。</p> <p>○理科室を暗室にし、光っている様子がよくわかるようにしておく。</p> <p>○暗箱も用意し、つくりながら光の感じを試すことができるようにする。</p> <p>○タブレットで自分のイメージに合う色とアングルで写真に残すようにする。</p>

※参考資料

・「モクモクワクワクヨコハマヨーヨー」 最上壽之（横須賀市生まれの彫刻家）
 横浜の雲からインスピレーションをうけ、たなびく雲をイメージしてつくられた。
 高層ビルが立ち並ぶみなとみらいエリアのビル風の抑制も兼ねている。
 ‘モクモクの雲’に気持ちが高ぶったときの‘ワクワク’という言葉をかけ、横浜の発展を願って「前途洋々（ヨーヨー）」という意味を込めている。
 夜はライトアップされることで、雰囲気がかがらりと変わる。



(昼間)

(夜 光があたると 白)

(夜 光が当たると 色)



・ランドマークタワー

1993年から2012年まで、日本で一番高いビルだった。みなとみらい地区のランドマーク・シンボル。
 アメリカの建築家、ヒュー・スタブンスによるデザイン。灯台をイメージしている。

・クイーンズスクエア

波をイメージして3つの建物が並んでいる。パブリックアートが充実

・インターコンチネンタルホテル

「風をはらんだヨットの帆」の形を模した外観。ヨット型の建物の頂上には、ブロンズの女神像が立っていて、安全な航海を祈願している。「みちびき」と名付けられたこの女神像は、横浜の飛翔や世界の平和を願って、設置された。



・新市庁舎

船の形をイメージ

建物の内部も、船の中や海をイメージ

青色のカーペットで海をイメージし、ベンチの形はそこに浮かぶ船をイメージ



※湘南台文化センター

「森の中に浮かぶ宇宙」 長谷川逸子 作

地球を模したメタリックな球体。瓦を重ねてできた「小川」が流れる。

周辺に連なる塔の群れは生き茂る木々。

作者の思い:かつては田畑の広がる農村だった地域。

「公共建築の閉鎖的で威張ったイメージを壊したかった」

「自由に憩える原っぱのような空間」を残したかった」



光の形に思いをのせて ワークシート①

6年 組

身近な場所にあるオブジェやモニュメントを鑑賞しよう😊



思いや願いをこめてつくられたもの

このオブジェにタイトルをつけてみよう!

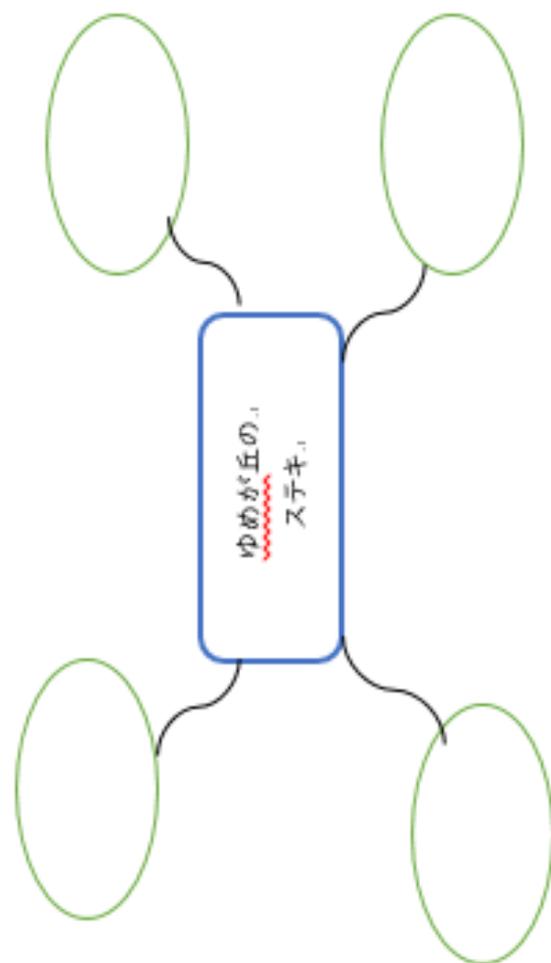
どうしてそのタイトルにしたのか、理由を書いてみよう(どこの形で、何を表現しているのかな?)

このオブジェに込められた願いはどんなものでしょう?(どこの形でどんな願いを表しているのかな?)

光の形に思いをのせて ワークシート②

6年 組

ほかの地域に自慢できる、ゆめが丘のステキなひと・もの・こと→そこから自分の「思い」や「願い」を考えてみよう！



光の形に思いをのせて ワークシート③

6年 組

伝えたいゆめが丘のステキ★☆☆(ワークシート②の赤丸から選ぼう!)

伝えたいステキを、形にあらわしてみよう!
どんな形を組み合わせると、あなたの思いが伝わるかな?